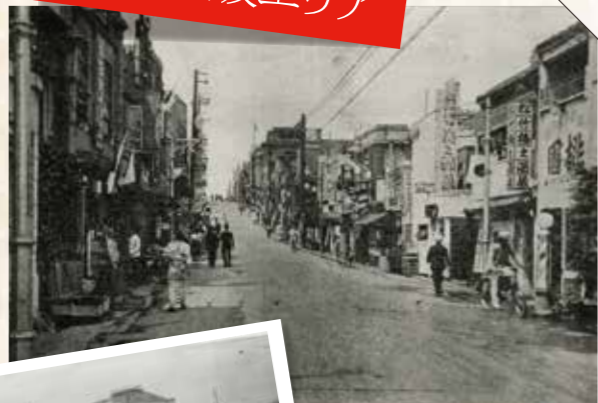


神楽坂エリア



1937年頃 神楽坂途中から坂上方向



明治末期 赤城神社祭礼山車、矢来町交番付近

かつて内藤新宿の名で宿場があった四谷は、歴史的資源や自然環境を残したまま再開発が続けられてきました。平成、令和に入ってから開発が行われ、日々進化しています。今も昔も学生街としてにぎわう高田馬場・早稲田・大久保は現在、国際色豊かなエリアとして、新たな魅力が人々をひきつけています。また、かつての文化や風情を残すのは、神楽坂と落合です。神楽坂には花柳界の落ち着いた華やきが、落合には地場産業の染物文化や文化人に愛されたまちの風情が残っています。より便利で住み心地のよいまちへと発展を遂げてきました。

四谷エリア



1959年頃 聖徳記念絵画館正面角池(子供用プール)



1950年頃 四谷見附橋、新宿方向

新宿エリア



1923年 青梅街道を行く荷馬車と西武鉄道軌道線の電車



1955年頃 新宿駅西口



1962年頃後半 カワセビル、伊勢丹など

新宿の歩み



江戸時代、甲州街道の新しい宿場としてにぎわいをみせた内藤新宿。時代が進み、1947(昭和22)年には四谷・牛込・淀橋の三区が統合され、新宿区が誕生しました。成立70年を超える新宿区の歩みを、貴重な写真とともに振り返ります。



1970年 靖国通り 都電新宿駅前



1952年 新宿御苑遊園地



1959年頃 歌舞伎町(コマ劇場、新宿劇場前)



1964年 工学院大学屋上から・ガスタンク 淀橋浄水場 全景



1964年 小田急デパート前、オリンピックモニュメント

落合エリア



1974年 西武新宿線 下落合駅



1961年 中井駅前(妙正寺川横)



1960年代 高田馬場駅前 早稲田通り

高田馬場・早稲田・大久保エリア



1952年 早稲田通り 早稲田松竹手前付近の商店街

新宿は今も進化中!

新宿駅の東西をつなぐ東西自由通路が、2020年7月に開通しました。これまで移動しづかった東西間がわかりやすくなり、新宿駅の利用がより便利になりました。さらに、駅周辺のビルの建て替えなども随時行われ、今後ますます新宿のまちを発展させるべく開発が進んでいます。



- 2017 新宿区成立70周年を迎える
- 2016 新宿駅南口に交通ターミナル「バスタ新宿」がオープン。新宿駅南口の高架下に「新宿観光案内所」がオープン
- 2015 新宿東宝ビルがオープン
- 2008 新宿3劇場が閉館
- 1991 東京都庁舎が完成する。都庁が移転し新宿新都心となる
- 1989 新宿歴史博物館がオープン
- 1985 新宿駅開業100周年を迎える
- 1975 新宿駅周辺の3つの地下連絡通路が開通し、国鉄と私鉄4社の新宿駅が地下でつながる
- 1971 新宿高速バスターミナル開設
- 1970 新宿駅周辺の都電が完全撤去される。歩行者天国が実施される
- 1966 新宿駅の乗降客数が日本一となる
- 1958 首都圏整備計画で新宿が副都心として位置づけられる
- 1956 新宿コマ劇場が開館
- 1950 新宿区役所を歌舞伎町に置く
- 1949 新宿御苑が一般公開される
- 1947 四谷牛込淀橋三区が統合され、新宿区が誕生

新宿の歴史を振り返る



コマ劇場前でイベントに見入る人びと



靖国通り 都電新宿駅前



二幸屋上から工事中的コマ劇場が見える歌舞伎町街方向



新宿区役所庁舎